



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月30日
東

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮崎 正太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 定時株主総会開催予定日 2025年6月19日 配当支払開始予定日 2025年6月20日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	234,216	3.9	18,516	13.1	20,090	6.2	14,415	△9.8
2024年3月期	225,360	△1.2	16,372	△6.4	18,918	△5.0	15,981	△0.6

(注) 包括利益 2025年3月期 10,854百万円(△61.8%) 2024年3月期 28,409百万円(26.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	613.17	—	6.4	5.5	7.9
2024年3月期	670.55	—	7.6	5.3	7.3

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	367,037	226,650	61.7	9,675.09
2024年3月期	362,335	221,553	61.0	9,325.04

(参考) 自己資本 2025年3月期 226,285百万円 2024年3月期 221,167百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	13,571	△13,877	△6,726	64,067
2024年3月期	12,910	△6,411	△6,390	72,578

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00	3,569	22.4	1.7
2025年3月期	—	80.00	—	100.00	180.00	4,209	29.4	1.9
2026年3月期(予想)	—	120.00	—	150.00	270.00		35.1	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	115,700	6.9	9,000	18.8	9,200	21.3	8,700	50.5	371.98
通期	240,000	2.5	21,500	16.1	22,000	9.5	18,000	24.9	769.61

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	24,893,841株	2024年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2025年3月期	1,505,407株	2024年3月期	1,176,243株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	23,509,923株	2024年3月期	23,833,674株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	102,840	△3.4	6,953	75.4	11,504	15.7	9,062	△6.7
2024年3月期	106,462	△4.1	3,964	22.2	9,941	34.0	9,713	44.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期	385.48		—					
2024年3月期	407.55		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2025年3月期	189,546	105,822	105,822	55.8	4,524.55	
2024年3月期	194,712	104,502	104,502	53.7	4,406.11	

(参考) 自己資本 2025年3月期 105,822百万円 2024年3月期 104,502百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における、連結売上高は2,342億16百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益185億16百万円（前年同期比13.1%増）、経常利益200億90百万円（前年同期比6.2%増）、純利益144億15百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

当年度の連結受注は2,379億55百万円（前年同期比11.5%増）で前年度を上回りました。景気全体が低迷気味であった中国において安定して受注を獲得することができた他、第3四半期以降はアメリカでの航空宇宙関連向けの受注が堅調に推移しました。

当年度の報告セグメント別の受注状況（現地通貨ベース）は以下のとおりです。（当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成されています。詳細については12ページを参照ください）

セグメントⅠ（牧野フライス製作所「個別」および国内連結子会社）

牧野フライス製作所の国内受注は、前年度並みとなりました。産業機械向け及び、半導体製造装置関連向けが底堅く推移しました。

セグメントⅡ（MAKINO ASIA PTE LTD）

アジアの受注は前年度を上回りました。

中国は新エネルギー車関連向けを中心とした部品加工向けが堅調に推移しました。

インドは商用車を含む自動車関連の部品加工向けが底堅く推移し、航空機向けが増加したことで、前年度を上回りました。

アセアンは半導体製造装置関連向けの受注が継続しており、前年度を上回りました。

セグメントⅢ（MAKINO INC.）

アメリカの受注は前年度を上回りました。航空宇宙関連向けが第3四半期以降高水準で推移しました。産業機械や自動車関連向けを中心とした部品加工向けは底堅く推移しました。

セグメントⅣ（MAKINO Europe GmbH）

ヨーロッパの受注は前年度を上回りました。景気の低迷によりお客様の設備投資に対する慎重な姿勢は継続していましたが、航空機関連が底堅く推移しました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ47億2百万円増加し、3,670億37百万円となりました。主な増減としては、建設仮勘定90億89百万円の増加、受取手形、売掛金及び契約資産81億47百万円の増加、現金及び現金同等物55億10百万円の減少、有価証券31億円の減少、投資有価証券29億29百万円の減少などが挙げられます。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億94百万円減少し、1,403億87百万円となりました。主な増減としては、短期借入金58億66百万円の増加、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）58億16百万円の減少、仕入債務20億54百万円の減少、未払法人税等8億24百万円の増加などが挙げられます。

また純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ50億96百万円増加し、2,266億50百万円となりました。主な増減としては、利益剰余金106億47百万円の増加、為替換算調整勘定24億73百万円の減少、その他有価証券評価差額金20億37百万円の減少、自己株式19億76百万円の増加、退職給付に係る調整累計額9億33百万円の増加などが挙げられます。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益199億83百万円、売上債権の増加87億57百万円、減価償却費83億13百万円、法人税等の支払額55億円、棚卸資産の減少26億80百万円などにより、135億71百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出149億45百万円、投資有価証券の取得による支出20億5百万円及び有形固定資産の売却による収入14億19百万円などにより、138億77百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金純増減額59億75百万円、長期借入金の返済による支出58億18百万円、配当金の支払額37億63百万円及び自己株式の取得による支出20億7百万円などにより、67億26百万円の支出となりました。

これらの結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ85億11百万円減少し、640億67百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率	57.6	54.6	56.6	61.0	61.7
時価ベースの自己資本比率	37.4	28.5	33.3	41.0	74.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.0	3.2	18.0	4.1	3.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	61.8	55.6	9.2	43.3	23.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標はいずれも連結ベースの財務諸表により算出しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債(リース債務を除く)を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の連結受注は、当期比で円高を想定していますが、2,450億円（当期比2.9%増）で、当期を上回る計画です。

次期の報告セグメント別の受注見通し（現地通貨ベース）は以下のとおりです。

セグメントⅠ（牧野フライス製作所「個別」および国内連結子会社）

牧野フライス製作所の国内受注は当期を上回る計画です。

データセンタ関連やエネルギー関連の需要増加に伴う受注拡大に向けた取り組みを継続します。半導体製造装置関連の他、自動車関連のうち、生産性の向上を見据えた多軸機や自動化システムの受注増加にも注力します。

セグメントⅡ（MAKINO ASIA PTE LTD）

次期のアジアは当期を上回る計画です。

中国は、新エネルギー車を中心とした部品加工向けの他、電気電子部品関連を含む金型向けの受注が増加する計画です。

インドは当期を上回る計画です。航空機向けの商談が増加傾向にある他、建機、農機関連の商談も増加傾向にあり、受注につなげられるよう努めます。

アセアンは当期を上回る計画です。半導体製造装置向け及び、中国をはじめとした他地域からアセアンへの設備投資が増加する見通しです。

セグメントⅢ（MAKINO INC.）

次期のアメリカは当期並みとなる計画です。引き続き航空宇宙向けは堅調を維持すると見えています。また、自動車関連では、販売が好調な車種の増産に関する商談が出てきており、受注につなげられるよう努めます。

セグメントⅣ（MAKINO Europe GmbH）

次期のヨーロッパは当期を上回る計画です。航空機向けは堅調に推移すると見えています。油圧機器関連やエネルギー関連の商談が増加しており、受注につなげられるよう努めます。

当社グループの2026年3月期の連結業績予想は、次のとおりです。

（％表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期 連結累計期間	115,700	6.9	9,000	18.8	9,200	21.3	8,700	50.5
通 期	240,000	2.5	21,500	16.1	22,000	9.5	18,000	24.9

人件費など経費の増加や円高による利益の減少が見込まれる一方で、増産や、販売単価の見直しの他、業務効率の改善を推し進め、利益の確保に努めます。

また、在庫削減や政策保有株式の縮減、株主還元の強化を通して、資産効率の改善を進めます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,565	64,055
受取手形、売掛金及び契約資産	47,842	55,989
有価証券	3,236	135
商品及び製品	34,618	33,476
仕掛品	18,859	19,263
原材料及び貯蔵品	48,069	45,479
その他	11,144	12,055
貸倒引当金	△1,760	△1,849
流動資産合計	231,576	228,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	92,437	92,568
減価償却累計額	△52,399	△53,376
建物及び構築物（純額）	40,037	39,192
機械装置及び運搬具	35,677	35,494
減価償却累計額	△24,011	△24,375
機械装置及び運搬具（純額）	11,665	11,119
工具、器具及び備品	21,141	19,977
減価償却累計額	△15,602	△14,791
工具、器具及び備品（純額）	5,539	5,185
土地	20,230	20,022
リース資産	10,960	12,379
減価償却累計額	△4,190	△4,993
リース資産（純額）	6,770	7,385
建設仮勘定	2,226	11,315
有形固定資産合計	86,470	94,221
無形固定資産		
その他	3,150	3,539
無形固定資産合計	3,150	3,539
投資その他の資産		
投資有価証券	28,156	25,226
長期貸付金	542	496
繰延税金資産	5,647	6,607
退職給付に係る資産	2,333	4,687
その他	4,552	3,739
貸倒引当金	△94	△85
投資その他の資産合計	41,138	40,672
固定資産合計	130,759	138,433
資産合計	362,335	367,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,345	19,125
電子記録債務	15,263	12,429
短期借入金	2,277	8,143
1年内償還予定の社債	-	5,000
1年内返済予定の長期借入金	5,816	11,500
リース債務	1,219	1,132
未払法人税等	2,522	3,346
その他	36,681	36,934
流動負債合計	82,124	97,610
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	24,500	13,000
リース債務	3,533	3,425
繰延税金負債	7,494	8,258
役員退職慰労引当金	148	161
退職給付に係る負債	697	715
その他	2,284	2,216
固定負債合計	58,657	42,776
負債合計	140,782	140,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,092	37,116
利益剰余金	127,113	137,760
自己株式	△5,199	△7,175
株主資本合計	180,149	188,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,034	13,997
為替換算調整勘定	23,100	20,626
退職給付に係る調整累計額	1,883	2,817
その他の包括利益累計額合計	41,018	37,441
非支配株主持分	385	364
純資産合計	221,553	226,650
負債純資産合計	362,335	367,037

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	225,360	234,216
売上原価	157,354	161,777
売上総利益	68,005	72,439
販売費及び一般管理費	51,633	53,922
営業利益	16,372	18,516
営業外収益		
受取利息	594	469
受取配当金	554	563
助成金収入	289	1,109
為替差益	577	-
その他	929	825
営業外収益合計	2,944	2,967
営業外費用		
支払利息	211	485
社債利息	96	96
為替差損	-	679
その他	89	130
営業外費用合計	398	1,392
経常利益	18,918	20,090
特別利益		
固定資産売却益	246	519
投資有価証券売却益	542	756
関係会社株式売却益	-	4
特別利益合計	788	1,280
特別損失		
固定資産除却損	55	75
関係会社株式評価損	23	-
公開買付関連費用	-	1,312
特別損失合計	78	1,388
税金等調整前当期純利益	19,629	19,983
法人税、住民税及び事業税	4,223	6,321
法人税等調整額	△589	△770
法人税等合計	3,633	5,550
当期純利益	15,995	14,432
非支配株主に帰属する当期純利益	14	16
親会社株主に帰属する当期純利益	15,981	14,415

連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	15,995	14,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	875	△2,037
為替換算調整勘定	10,219	△2,473
退職給付に係る調整額	1,319	934
その他の包括利益合計	12,413	△3,577
包括利益	28,409	10,854
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	28,393	10,838
非支配株主に係る包括利益	16	16

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,142	37,056	114,714	△4,233	168,681
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		23			23
剰余金の配当			△3,582		△3,582
親会社株主に帰属する当期純利益			15,981		15,981
自己株式の取得				△1,002	△1,002
自己株式の処分		11		36	47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	35	12,398	△966	11,467
当期末残高	21,142	37,092	127,113	△5,199	180,149

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	15,160	12,880	565	28,606	499	197,787
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						23
剰余金の配当						△3,582
親会社株主に帰属する当期純利益						15,981
自己株式の取得						△1,002
自己株式の処分						47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	874	10,219	1,318	12,411	△113	12,298
当期変動額合計	874	10,219	1,318	12,411	△113	23,765
当期末残高	16,034	23,100	1,883	41,018	385	221,553

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,142	37,092	127,113	△5,199	180,149
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		7			7
剰余金の配当			△3,768		△3,768
親会社株主に帰属する当期純利益			14,415		14,415
自己株式の取得				△2,007	△2,007
自己株式の処分		16		31	47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	24	10,647	△1,976	8,694
当期末残高	21,142	37,116	137,760	△7,175	188,843

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	16,034	23,100	1,883	41,018	385	221,553
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						7
剰余金の配当						△3,768
親会社株主に帰属する当期純利益						14,415
自己株式の取得						△2,007
自己株式の処分						47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,037	△2,473	933	△3,577	△20	△3,597
当期変動額合計	△2,037	△2,473	933	△3,577	△20	5,096
当期末残高	13,997	20,626	2,817	37,441	364	226,650

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,629	19,983
減価償却費	8,266	8,313
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△141	△224
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23	103
受取利息及び受取配当金	△1,148	△1,032
支払利息	308	582
為替差損益 (△は益)	△23	4
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△542	△756
固定資産売却損益 (△は益)	△246	△519
固定資産除却損	55	75
関係会社株式売却益	-	△4
関係会社株式評価損	23	-
公開買付関連費用	-	1,312
売上債権の増減額 (△は増加)	7,589	△8,757
棚卸資産の増減額 (△は増加)	942	2,680
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,972	△826
その他	△6,963	△1,939
小計	15,753	18,994
利息及び配当金の受取額	1,146	1,035
利息の支払額	△298	△578
法人税等の支払額	△3,690	△5,500
公開買付関連費用の支払額	-	△378
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,910	13,571
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	1,968	-
有形固定資産の取得による支出	△9,577	△14,945
有形固定資産の売却による収入	536	1,419
投資有価証券の取得による支出	△115	△2,005
投資有価証券の売却による収入	651	877
その他	125	777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,411	△13,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	619	5,975
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,073	△1,081
長期借入れによる収入	4,000	-
長期借入金の返済による支出	△5,250	△5,818
自己株式の取得による支出	△1,002	△2,007
子会社の自己株式の取得による支出	△100	△25
配当金の支払額	△3,577	△3,763
非支配株主への配当金の支払額	△6	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,390	△6,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,002	△1,479
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,111	△8,511
現金及び現金同等物の期首残高	69,467	72,578
現金及び現金同等物の期末残高	72,578	64,067

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日。以下「実務対応報告第46号」という。)を当連結会計年度の期首から適用しています。これにより、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等については、対象会計年度となる連結会計年度及び事業年度として、財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき当該法人税等の合理的な金額を見積り、損益に計上することとしております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理の方法と同一であり、報告セグメントの利益又は損失は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	I	II	III	IV	
売上高					
外部顧客への売上高	53,673	89,575	60,447	21,665	225,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	84,372	11,037	667	12	96,089
計	138,045	100,612	61,114	21,677	321,450
セグメント利益	9,447	4,816	2,158	535	16,957
セグメント資産	229,354	110,005	59,405	21,981	420,746

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	I	II	III	IV	
売上高					
外部顧客への売上高	51,099	94,853	69,520	18,743	234,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81,490	9,860	484	32	91,868
計	132,590	104,713	70,005	18,775	326,084
セグメント利益	11,982	4,379	2,729	302	19,395
セグメント資産	228,739	108,343	62,742	20,014	419,839

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	321,450	326,084
セグメント間取引消去	△96,089	△91,868
連結財務諸表の売上高	225,360	234,216

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,957	19,395
セグメント間取引消去	△584	△879
連結財務諸表の営業利益	16,372	18,516

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	420,746	419,839
セグメント間取引消去等	△58,410	△52,801
連結財務諸表の資産合計	362,335	367,037

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
1株当たり純資産額	9,325.04円	1株当たり純資産額	9,675.09円
1株当たり当期純利益	670.55円	1株当たり当期純利益	613.17円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	221,553	226,650
普通株式に係る純資産額(百万円)	221,167	226,285
差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	385	364
普通株式の発行済株式数(株)	24,893,841	24,893,841
普通株式の自己株式数(株)	1,176,243	1,505,407
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	23,717,598	23,388,434

(2) 1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	15,981	14,415
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	15,981	14,415
普通株式の期中平均株式数(株)	23,833,674	23,509,923

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

受注及び販売の状況

①受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	47,416	19.9	△0.5
II	98,527	41.4	+17.3
III	73,778	31.0	+12.0
IV	18,232	7.7	+15.2
合計	237,955	100.0	+11.5

②受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度末 2025年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	18,950	18.7	△16.3
II	33,298	32.8	+12.4
III	40,994	40.4	+11.6
IV	8,195	8.1	△5.9
合計	101,440	100.0	+3.8

③販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	51,099	21.8	△4.8
II	94,853	40.5	+5.9
III	69,520	29.7	+15.0
IV	18,743	8.0	△13.5
合計	234,216	100.0	+3.9